

教育の変化と オープンスペースの必要性

教育を取り巻く近年の変化について

平成29年(2017年)3月

学習指導要領の改訂

“主体的・対話的で深い学び”の導入

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

令和2年(2020年)2月

第三期武蔵野市学校教育計画

自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる力を育む

令和2年(2020年)3月

武蔵野市学校施設整備基本計画

「生きる力」を育む教育を一層推進するとともに、子どもたち一人一人が様々な変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題解決していく力を育てていきます。

令和2年(2020年)4月

学習指導要領(小学校)の全面实施

学習や教育の変化に対応し、主体的・対話的な学びができる施設

今後20年間余を見据えた、目指すべき学校施設の基本的な方向性と、具体的な施設の整備方針を定めました。

令和3年1月

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(中央教育審議会答申)

「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が2020年代を通じて実現を目指す「令和の日本型教育」の姿である。

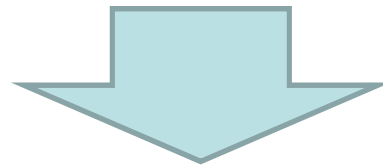
そのためには、「**新学習指導要領の着実な実施**」、「**ICTの活用**」が必要不可欠。

教育方法の変化

- 今までの学習指導要領・・・**学習内容のみ**を提示

<従来型の授業>

先生が教え、児童がそれを聞く一方通行の講義形式



- 新しい学習指導要領・・・初めて**教育方法**を提示

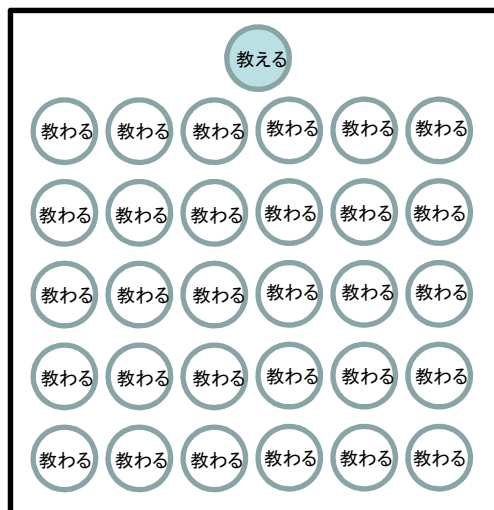
<新しい学び>

「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング※)」の視点から
「何を学ぶか」だけでなく、「**どのように学ぶか**」も重視した授業

※例・・・個別学習・グループによる課題解決型学習、探究学習など

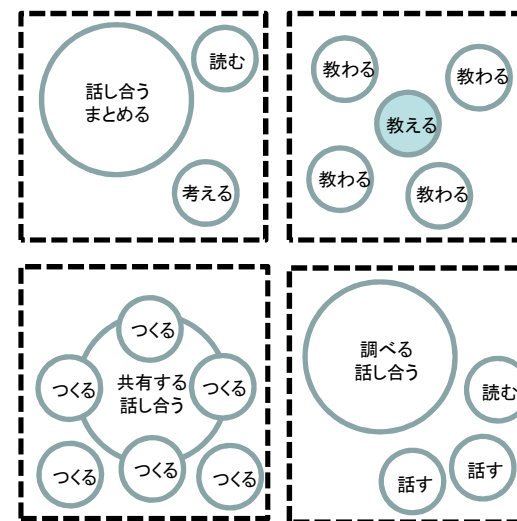
授業形態の変化

従来型の学び



- ・「教えるー教わる」の一方通行
- ・知識習得重視
- ・「**教えるための教室環境**」

新しい学び



- ・自主的に学び方、学ぶ場を選ぶ
- ・多様な学習方法が混在
- ・「**学ぶための教室環境**」

これからの多様な学習方法に対応できる
可変性と柔軟性のある教育環境が求められている

新しい学びの事例

ICT機器を活用した授業



未来の学びを支える環境と校具Vol.2 ICT環境とホワイトボード より



境南小学校HPより



境南小学校HPより

新しい学びの事例



井之頭小学校HPより



境南小学校HPより



第五小学校HPより



第五小学校HPより

オープンスペース等での活動事例

グループワーク・習熟度別授業での利用



Eye-span 2013 Dec. より (埴町立常豊小学校)



千川小学校HP より



未来の学びを支える環境と校具Vol.3 校具が作り出す学びの場 より (板橋区立板橋第一小学校)



第五小学校HP より

オープンスペース等の活動事例

書道・図工・学年集会等での利用



芝浦小学校HP より



千川小学校HP より

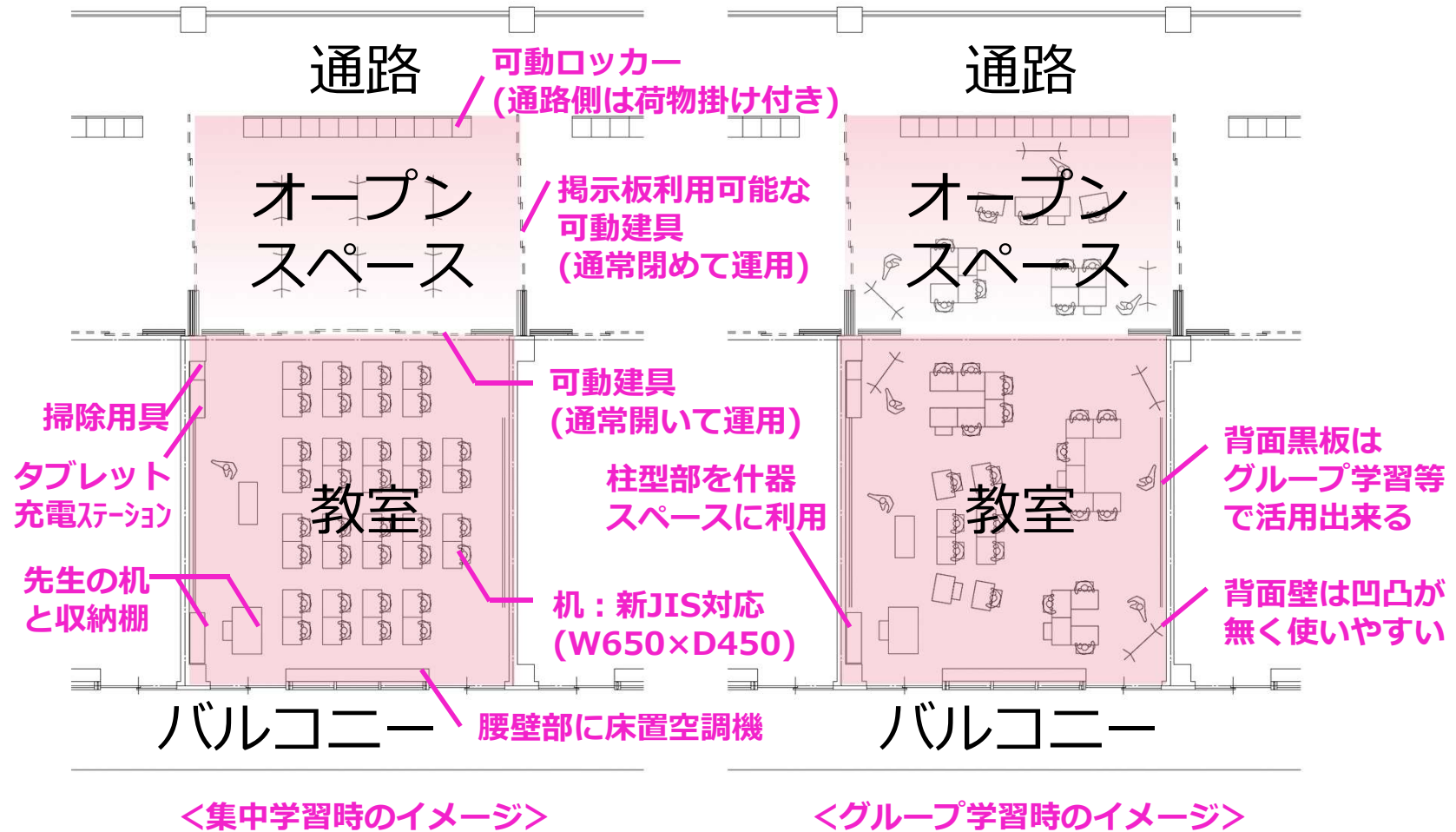


境南小学校HP より

教室とオープンスペースの提案例

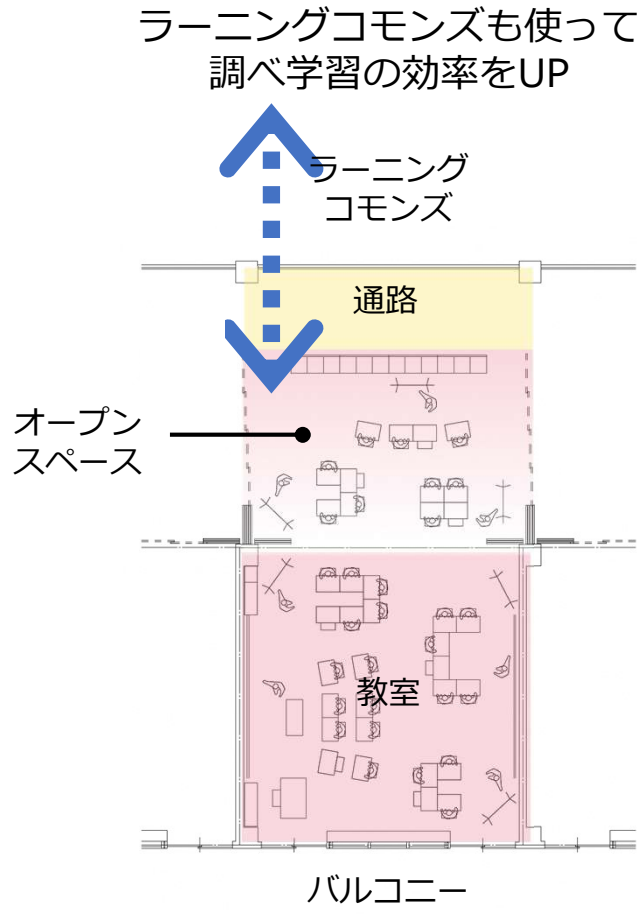
教室廻りのしつらえ

可動建具と可動ロッカーで柔軟な教室運用が可能



教室とオープンスペースの提案例

教室とオープンスペースの参考使用例



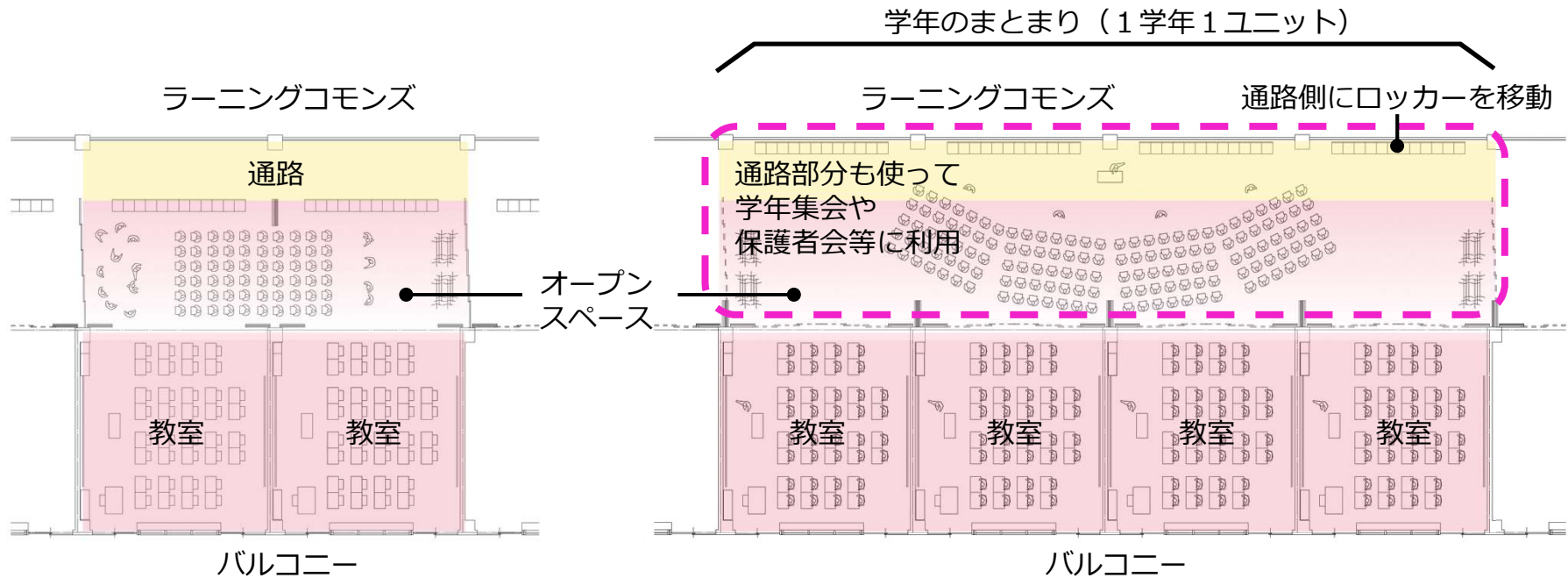
グループ学習のイメージ(オープンスペース側より)



グループ学習のイメージ(教室側より)

教室とオープンスペースの提案例

教室にオープンスペースを付属させて学びを拡張



<異学級交流 (学芸会の練習等)>

<学年集会や保護者会利用>

